

ディスコグラフィアー掲載

ディスコグラフィアー 【2018No.112】 (HP 掲載)

分類：MQA/UHQCD

作曲家：スメタナ

曲名：交響詩《わが祖国》

演奏：ラファエル・クーベリック指揮ボストン交響楽団

発売：Universal Music

No. : UCCG-40085

概要：



発売元サイトの解説と収録曲は次のとおりです。

「スメタナの交響詩《わが祖国》はクーベリックが最も得意としたレパートリーで6種ものレコーディングを残しましたが、これはその3回目の録音で、オーケストラや録音の素晴らしさも相俟って理想的な演奏を展開しています。作品の本質に迫った永遠の名盤といえましょう。

(1971年録音／2011年マスター)

オリジナル・テープから独 Emil Berliner Studios にて 2011 年に制作した DSD マスターを 352.8 kHz/24bit に変換して収録」

交響詩《わが祖国》

1 交響詩《ヴィシェフラード》

2 交響詩《モルダウ》

3 交響詩《シャルカ》

4 交響詩《ボヘミアの森と草原から》

5 交響詩《ターボル》

6 交響詩《ブラニーク》

CD ドライブから fidata HFAS1-S10 で読み出し、Brooklyn DAC+の USB 端子に UACU-700 経由で入力して聴いてみました。

オーケストラはアメリカのオーケストラですが、クーベリックが指揮しているだけあって、オーソドックスなチェコフィルの演奏を聴いているようです。

音質はしなやかで、かなりアナログ的な雰囲気も感じられます。

なお、この曲は、フォーマットや演奏違いの盤がいくつかありますので、別途聴き比べを実施します。

以上